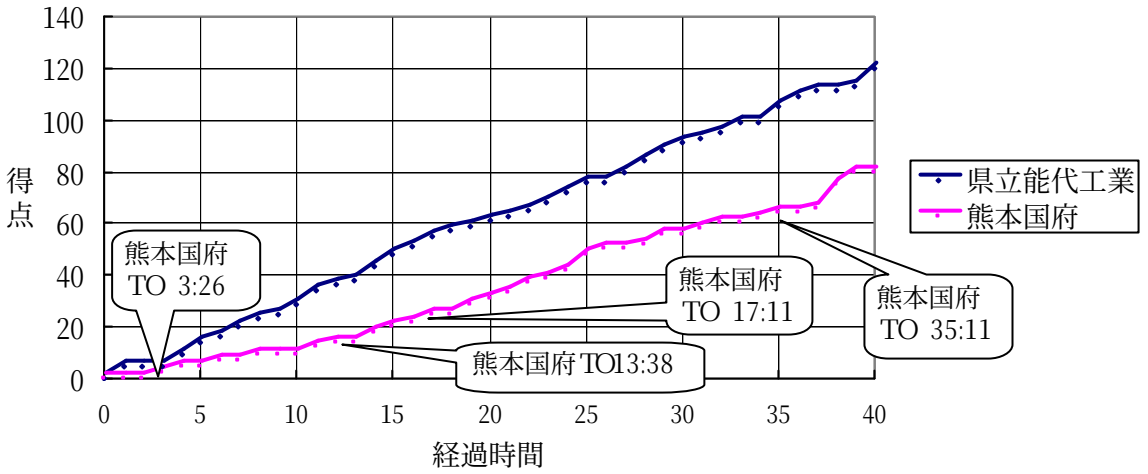
大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会
期日	2007年（平成19年)7月30日(月)
会場	唐津東高等学校

E1	10:00	男子 2回戦

県立能代工業	120	29 — 9 32 — 22 30 — 25 29 — 24 —	80	熊本国府
秋田 ○			●	熊本

主審 平　育　雄　　副審 嶋　田　博　昭



県立能代工業

	No.	氏　名	点	3P	2P	FT	F
◎	4	渡部　敬祐	8	2	0	2	2
○	5	満原　優樹	26	0	13	0	0
○	6	髙橋　健太郎	24	0	9	6	2
○	7	長谷川　技	12	0	3	6	2
○	8	髙橋　陽	13	1	4	2	2
	9	宮川　光	8	0	4	0	0
	10	館山　健太	18	2	5	2	5
	11	石川　朝	2	0	1	0	0
	12	荒生　純平	1	0	0	1	0
	13	伊藤　伸高	0	0	0	0	0
	14	小川　昌志	0	0	0	0	0
	15	武藤　修平	8	0	3	2	1
	16						
	17						
	18						
コーチ		加藤　三彦					
		合計	##	5	42	21	

熊本国府

	No.	氏　名	点	3P	2P	FT	F
◎	4	久保　甫礎	22	1	7	5	2
○	5	東　敬太	19	1	6	4	3
○	6	石井　健介	4	0	2	0	2
○	7	唐嶋　裕人	8	0	3	2	5
	8	阿南　涼真	0	0	0	0	0
	9	西山　尚呂	0	0	0	0	0
	10	徳村　真之介	0	0	0	0	1
	11	吉岡　直之	3	1	0	0	4
	12	中村　年希	0	0	0	0	1
○	13	村上　広樹	18	0	9	0	2
	14	山内　大貴	0	0	0	0	0
	15	窪田　涼	6	2	0	0	2
	16						
	17						
	18						
コーチ		村上　靖夫					
		合計	80	5	27	11	

○はスターター ◎はキャプテン） 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー　F…ファウル

戦　評

4年ぶり栄冠をめざす能代工業と1回戦土浦日大との激戦を制し勢いのある熊本国府の2回戦。最後まであきらめず挑み続けた熊本国府であったが、総合力に勝る強豪能代が3回戦へと駒を進めた。

第1P能代工業２－３ゾーン、熊本国府ハーフコートマンツーマンで開始。能代工業は＃５満原を起点に確実に加点する。一方相手の堅いディフェンスの前に攻撃の糸口を見出せない熊本国府は＃13村上がゴール下で果敢に挑むもリズムを掴めず29対９能代工業リードで終了。第2P能代工業の圧倒的なオフェンスは止まらない。＃６髙橋のパワフルなポストプレイ、＃７長谷川の切れのあるカットインに会場から驚きの歓声が上がる。一方熊本国府も＃４久保、＃５東のミドルシュートが決まりだし61対31で後半へ。

第3P熊本国府にようやく得意のブレイクが出だすも、最後のつめのレイアップシュートを能代工業センター陣がことごとくブロック。それでも熊本国府は果敢にリングに向かい、さらに＃13村上は器用なポストプレイで加点する。これに対し能代工業も＃５満原にボールを集めセンター対決となり91対56で終了。第4P能代工業が主力を温存するとさらに両チーム共に点の取り合いに。熊本国府＃５東が高さある能代工業ディフェンス相手に果敢にドライブインをしかけ会場を沸かせる。これに対し能代工業は選手層の厚さでねじ伏せ120対80で勝利を飾った。

記載者　江口智徳　　所属）佐賀県バスケットボール協会